

〔科目名〕 地域の産業 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 選択科目
〔担当者〕 奥平 理	〔オフィス・アワー〕 時間:12:20-12:50 場所:授業日の教室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>本授業では、「津軽海峡圏」をテーマとしてその内容を深く掘り下げる。津軽海峡圏が交流圏・観光圏・経済圏としてどのような過去・現在をたどり、未来に向かうべきなのかを説明できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>具体的には歴史的、地理的、文化的背景から津軽海峡圏を説明し、津軽海峡連絡船廃止と北海道新幹線開業が津軽海峡圏に与えた影響を説明する。そして津軽海峡圏の観光の現状と課題、産業構造の変化を説明することで、最終授業で「津軽海峡圏の未来」テーマにグループ討議を行い、受講生に津軽海峡圏への意識が高まることを期待している。</p>		
〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>私たちは「津軽海峡圏」で生活をしている。皆さんは海峡を挟んで向かい側の函館について思ったり、考えたりしたことはあるだろうか。青森市と函館市、地理学用語では「双子都市(ツインシティ)」の定義にピッタリとあてはまる。青森県は道南よりもずっと歴史が古いのに、青森市と函館市はほぼ同時期、幕末から明治にかけて都市としての体裁を整えていった。</p> <p>双子都市の不思議な縁、今も脈々と受け継がれている交流の歴史、私たちのDNAに刻まれた津軽海峡圏を理解することで、この地に暮らすことの素晴らしさに気づくことができればと思う。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ol style="list-style-type: none"> 1. 最終授業で「津軽海峡圏の未来」をテーマにプレゼンテーションと討議を行い、活発に議論することができる。 2. 議論した内容を踏まえて、「津軽海峡圏の未来」に関するレポートを作成することができる。 3. 期末試験で60点以上を取ることができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時予習の必要はないが、授業後に興味関心を持ったテーマについては復習することを勧める。 2. シラバスについては、1講目のガイダンスで内容を確認する。 		
〔教科書〕 <p>テキストは使用しない。講義資料は Google ドライブ のフォルダ に毎時掲載する。</p>		
〔指定図書〕 <p>必要に応じて授業内で紹介する。</p>		
〔参考書〕 <p>必要に応じて授業内で紹介する。</p>		
〔前提科目〕 <p>該当なし</p>		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

授業ごとにレポート課題を提示し、最終授業日に期末試験を行う。

〔評価の基準及びスケール〕

- ①毎時レポート(50%)
- ②期末試験(50%)

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

- ◎本授業では授業中の私語や携帯電話の使用等、他の受講者に迷惑となる行為は現に慎むこと。これらの行為が発覚した場合は1回につき40点/回の減点を行うので、十分に注意すること。
- ◎写しと判断したレポート等の提出物は誰がオリジナルであろうとも関わった学生全員を0点とするので十分に注意すること。

〔実務経歴〕

該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): 津軽海峽圏の歴史的背景 内 容:青森と函館の歴史的背景を理解できる。 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか):津軽海峽圏の地理的特徴と言語 内 容:函館と青森の地理的特徴と言語の特徴を理解できる。 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか):津軽海峽圏の文化 内 容: 青森と函館の文化の共通性や特徴を理解できる。 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか):津軽海峽圏の交流とその影響 内 容:津軽海峽圏の交流がもたらしたさまざまな影響を理解できる。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 津軽海峽圏と津軽海峽連絡船 内 容: 津軽海峽圏の発展に果たした津軽海峽連絡船の役割を理解できる 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか):北海道新幹線開業の経済的影響 内 容:北海道新幹線開業が津軽海峽圏に与えた経済的な影響を理解できる。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか):函館の景観と観光 内 容:函館市にある独特の景観と観光との関係を理解できる。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか):はこだてクリスマスファンタジーと津軽海峽圏 内 容:はこだてクリスマスファンタジーと津軽海峽圏の関係を理解できる。 教科書・指定図書

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):函館市における観光の現状と課題 内 容:函館市の観光の現状と課題を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):青森県における観光の現状と課題 内 容:青森県の観光の現状と課題を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):DVD 視聴と通訳機器の実際から観光産業を考える 内 容:DVD を視聴し、通訳機器「ポケットーク」に触れることから、観光産業の現状と課題を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):観光産業と地域の結びつき 内 容:観光産業と地域の結びつきを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):観光の定義とその意義 内 容:観光の定義を理解し、観光の意義を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):観光の歴史 内 容:時系列に沿って、観光の歴史を理解することができる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):観光地と観光資源 内 容:観光地における観光資源とは何かを理解することができる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>15回の授業内容から4題を総合的に出題する。</p>